

希望の風

December



下関市長の部屋

深い歴史と美しい海峡で
これからも下関を元気に

こ んにちは。市長の前田晋太郎です。市長に就任して早いもので8カ月が過ぎました。お会いする方から「市長の仕事は慣れましたか?」と聞かれることが多いのですが、正直いつも返事に詰まってしまいます。

ほとんど休暇のない毎日のハードな日程や多くの人の前でのあいさつなどは少しずつ慣れてきてはいますが、大きな政策の判断や予算の決定など市民の生活や税金を背負う重みは非常に尊く、決して慣れることはないと思っています。

市長に就任して以来さまざまながありますが、自分自身は市長としてきちんとやれているのだろうかといつも自問自答しています。市民の生命と財産を

守り、未来に向けて進むべき道を指し示すことができていくか。公私混同することなく、常に公正で明るく元気な市長でありたい。そういった考えが頭をよぎります。

維

新150年を来年に控え、先日、坂本龍馬、西郷隆盛、三吉慎蔵、伊藤九三、白石正一郎の御子孫を下関にお迎えをして、シンポジウムを行いました。日本の近代化を切り開いた英雄の直系である方々の言葉は大変重く、意義深いイベントとなりました。

改めて思ったことは、やはり下関市は歴史の街、他市には負けない素晴らしい歴史文化的な価値を持っているということです。出席者の皆さんも、下関から訪れてくれたと思いますし、下関で行うからこそ、その形に重みと深みが現れたのだろうと思います。

これからも、深い歴史と美しい海峡を生かした政策を前面に打ち出し、下関を元気にしていきたいと思っています。

シンポジウムの様子



まち協 通信
安岡地区
まちづくり協議会



このコーナーは、各地で「住民自治によるまちづくり」に取り組む「まちづくり協議会」が作成しています。特色のある活動や取り組みなどについて紹介します。

住み続けたい、誇れるまち

私たちのまちづくりの目標は、住民が住み続けたいと思うまち、他所で安岡の住民だと誇れるまちにすることです。まちづくりは、人づくりです。まちづくりに参加することを通じて、大人が社会性を取り戻し、高めていく。子どもたちも社会性や郷土愛が育ちます。

住民が行動、住民が交流

安岡の方言に「かたろーて行こう」「ごうしんしよう」という言葉があります。「一緒に行こう」「一緒にやろう」という意味です。まちづくりに参加し、交流して人を知ることが楽しく幸せなことです。人生を豊かなものになります。このまちは、古くから住んでいる住民だけの

ではありません。新しく移り住んだ人々も参加して、共に将来を見据えたまちづくりをしましょう。**ゆっくりと着実に**

- 目標および計画の策定と実行に当たっては、以下のことを心掛けたいと考えています。
- ①長期の目標を設定し、それに向けての中期計画を立てる。
 - ②計画は、私たちの能力に合った等身大のものにし、ゆっくりと着実に実行していく。
 - ③必要な時には、積極果敢に断行することも避けてはならない。

地域の情報伝達媒体としての役割

私たちの役割の一つは、地域で発生した情報を内外に発信し、また地域に役立つ情報を地域に提供することです。そのために、①広報紙「カタローテ安岡」の各戸(5800戸)配付(随時発行)、②HP・Facebook・YouTubeの開設、③講演会「諸学塾」を開催しています。

まちづくりに参画を

広報紙カタローテ委員会、鋤先登山委員会、桜祭委員会、ピカピカウォーク委員会、ほたる委員会など、さまざまな委員会が誕生中。見えないものに形を与え、命をともし「安岡まちづくり活動」に参加希望のボランティア仲間、ただ今大歓迎募集中。

安小ほたる飼育特別授業支援



児童とほたる委員会メンバー

【協議会情報】

- 安岡地区まちづくり協議会
- ▽会長 坂口伸一 ▽事務所 安岡駅前二丁目7番1号(安岡公民館内) ☎250-8110
- ▽ホームページ <https://yasuo-kakataroute.jimdo.com/>
- ▽まちづくりに YouTube

【安岡地区まちづくり協議会の組織】

理事会 執行委員会(実働部隊)
総務部会 住民要望実現部会 事業推進部会 雇用創出部会



鋤先山ウォーキング



復活!安岡浦の盆踊り